学校番号	１０８

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	２	年次	２
使用教科書	高等学校　改訂版　現代文Ｂ（第一学習社）						
副教材等	アップリフト現代文　入試標準　改訂版　ほか						

１ 担当者からのメッセージ

・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・２年生では社会人に必要となる基礎的な国語の力を的確に活用して行くことを心がけましょう。
・ただ読むだけではなく、読んで理解した後、そのテーマについて自分はどう考えるか、現実の問題として捉えなおすとどうなるかを意識しましょう。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は必ず守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２ 学習の到達目標

・表現された内容や事柄を、目的や場に応じて間違いなく理解する。
・人間と人間との関係の中で、互いの立場や考えを尊重しながら、言語を通して適切に表現したり的確に理解したりして、円滑な相互伝達、相互関係を進めていく能力を身に着ける。
・言語を手掛かりとしながら物事を筋道立てて考え、問題を解決しようとする創造的なかつ論理的な思考力を身につける。
・言語活動における表現と理解との具体的な場面を通して、目的や場に応じた言葉の適切さや美しさについての感覚を洗練し、表現と効果について吟味し、適切な判断が出来るようにする。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話したり、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等） 定期考査	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙） 定期考査	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論一	教材: 「自明性の罠」からの解放 自他の「間合い」	○			◎	○	a:手順や理由を、順序や論理を追って読み手によく分かるよう論理的に説明しようとしている。 d:手順や理由を、順序や論理を追って読み手によく分かるよう論理的に説明している。 e:書くことに必要な文の組み立てについて理解している。	a、d、e: 行動の観察及び記述の点検、定期考査
	小説一	教材: 山月記	○			◎	○	a:人物、情景、心情などをどのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などをどのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、d、e: 行動の観察及び記述の点検、定期考査
	評論二	教材: 「私」中心の日本語	○			◎	○	a:手順や理由を、順序や論理を追って読み手によく分かるよう論理的に説明しようとしている。 d:手順や理由を、順序や論理を追って読み手によく分かるよう論理的に説明している。 e:話すこと・聞くことにおける言語運用が、個人や社会の中で果たしている役割について理解している。	a、d、e: 行動の観察及び記述の点検、定期考査
	小説三	教材: バグダッドの靴磨き	○			◎	○	a:人物、情景、心情などをどのように書き手が描いているのかを捉え、意味の深さに気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などをどのように書き手が描いているのかを捉え、意味の深さに気付いている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、d、e: 記述の点検と確認、定期考査

	詩	教材: わたしが一番きれいだったとき 永訣の朝	○	◎			○	a：韻文に見られる表現技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読もうとしている。 b:書き手の工夫を捉えてグループで話し合い、自分の考えを深めることができている 。 e:韻文の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、b: 行動の観察 e: 定期考査
2学期	評論 三	教材: 存在としての建築 手の変幻	○		◎		○	a：手順や理由を、順序や論理を追って読み手によく分かるよう論理的に説明しようとしている。 c 自らの思考の過程を整理し、論を統括する位置などを工夫して書こうとしている。 e:書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、c、e: 記述の点検と確認及び分析、定期考査
	小説 二	教材: こころ	○			◎	○	a：文学的な文章を、表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読もうとしている。 d:文学的な文章を、表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読んでいる。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a: 行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査、小テスト
	評論 四	教材: 働かないアリに意義がある 消費社会とは何か 「集合知」という考え方	○			◎	○	a:手順や理由を、順序や論理を追って読み手によく分かるよう論理的に説明しようとしている。 d:手順や理由を、順序や論理を追って読み手によく分かるよう論理的に説明している。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、d、e: 行動の観察及び記述の点検、定期考査
3学期	評論 五・六	教材: 動的平衡 トランス・サイエンスの時代 「グローバル化」の中の異文化理解	○			◎	○	a:手順や理由を、順序や論理を追って読み手によく分かるよう論理的に説明しようとしている。 d:手順や理由を、順序や論理を追って読み手によく分かるよう論理的に説明している。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、d、e: 行動の観察及び記述の点検、定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付け

て〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。